

自分らしいただ一つだけの家に住もう。

Sumikata

スミカタ

2020
SPRING

自分らしい家に、暮らす。

Special Interview

建築家 守谷昌紀氏

Interior

上質な住まいをつくるインテリア大解剖

HAMADA DESIGN 濱田 猛氏



Sumikata 2020 SPRING VOL.1

東急リハビリ株式会社 関西支社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目 11-4-1511 大塚駅前第4ビル15階 Tel0120-991-0890(無料) ©営業時間:10:00-18:00 ©定休日:毎週火・水曜日



INDEX

Special Interview

株式会社 一級建築士事務所アトリエm代表取締役

03

建築家 守谷昌紀 氏

Interior

上質な住まいをつくるインテリア大解剖
HAMADA DESIGN 濱田 猛 氏

07

09 レイアウトの基本

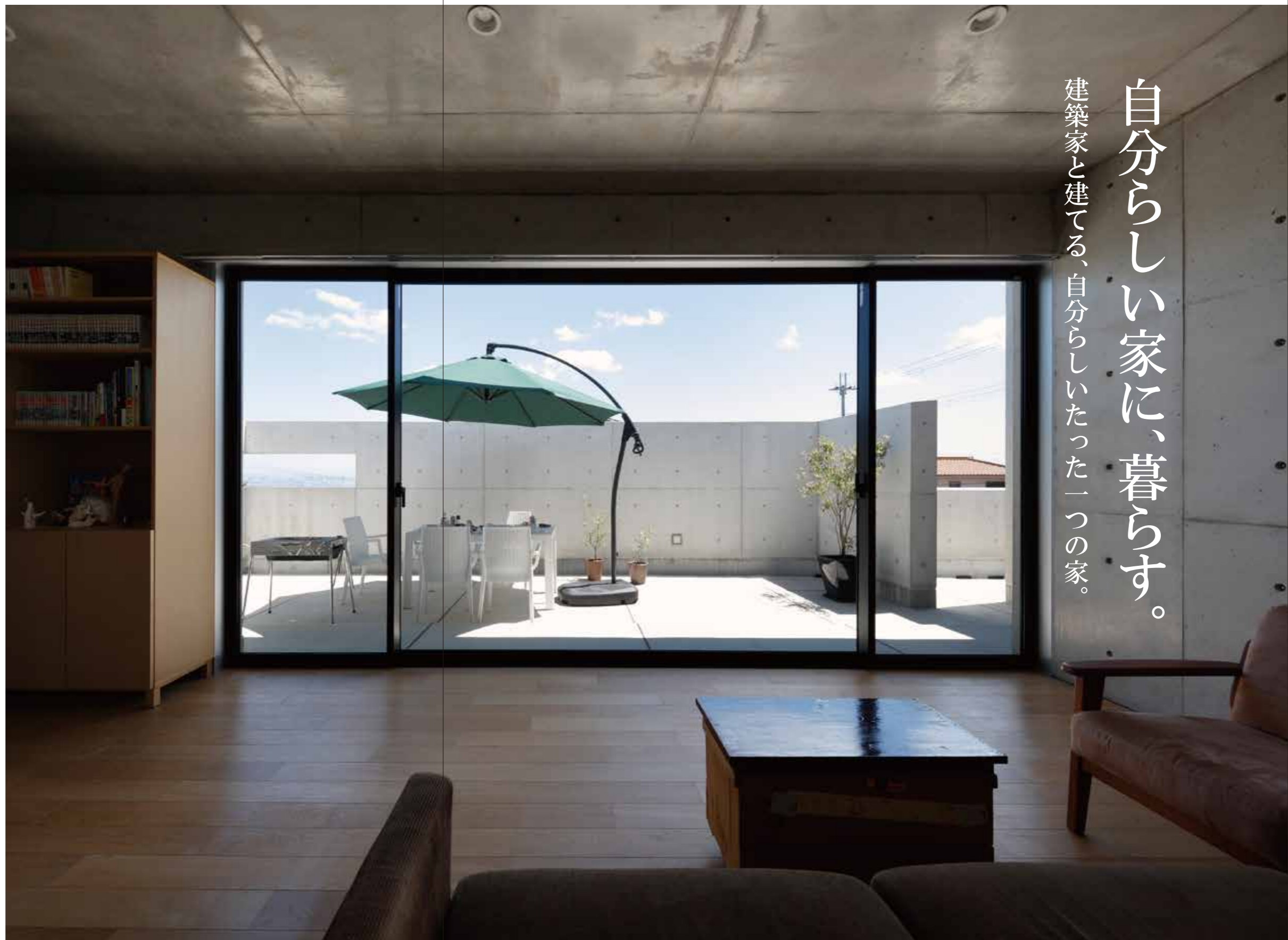
10 カラーコーディネートの基本

11 家具

12 収納

13 不動産購入
売却時のマネープラン

自分らしい家に、暮らす。
建築家と建てる、自分らしいたった一つの家。



自分らしい家に、暮らす。

建築家と建てる、自分らしいたった一つの家。

つぎに引越すならば、どんな家がいいだろう。
ただ住むための家ではなく、
主の趣味や家族の夢を形にした、たった一つの家。
いつか見た夢や憧れで終わらせるのではなく、
そろそろ考えてみてはいかがでしょうか。



Special Interview

株式会社 一級建築士事務所アトリエm代表取締役

建築家 守谷昌紀 氏



高台の家 / 1階ダイニングキッチン

建築は人の意思で建てる

「未来の幸せの形」

「建築というのは草木のように勝手に生えてくるものではなく、人の意思があって建っています。その実現のために施主と併走するのが私たち建築家の仕事なのです」と話すのは、建築家の守谷昌紀さん。これまで80以上の設計を手掛けてきた守谷さんだが、作風にはこだわりがないそう。「私の仕事は職業建築家です。建築家の遊び心や刺激があってもいいのですが、ご家族の幸せを建築で実現しなければなりません。幸せには決まったパターンはないので、家族構成や趣味、過去や未来についてとにかく話をし、そのご家族にとっての幸せが何かを突き詰めていきます。1回5時間くらい。建物が完成するまでに最低でも30回くらいは打ち合わせをします。草木が太陽に向かって伸びるように、ご家族にとっての「太陽」を一緒に見つけていきます」と話す。





滋賀の家 / 1階LDK



高台の家 / 2階居室

暮らしと太陽光の関係を設計する

「たとえば『高台の家』は土地探しからスタートしました。さまざまな土地を巡るなかで、坂のある街に住みたいということが明確になり、南向きの山腹にある土地に決まりました。関西は南側が海になっているところが多く、ここも南東に向かって開けた眺めのいい場所です。建物は鉄筋コンクリートの打放し（RC造）なので設計の自由度は高いのですが、コストは木造の1.5倍くらい。2階のリビングには、モダニズム建築の巨匠、ル・コルビュジエがパリ郊外に建てたサヴォア邸と同じくらいの大きな窓を設置しました。開放感のある空間を作る一方で、深い庇を使うことで夏の太陽の直射をカットし、逆に冬は太陽の光を遮らないように設計しました」と守谷さん。昔の日本の建物は軒を半間から一間くらい確保しているものもあったという。「最近では庇や軒のない建物も増えましたが、太陽の位置や高度の変化を計算しておかないと、住みにくい家になってしまうのです」と語る。

敷地ではなく必然性にあわせて配置する

「太陽の直射や快適性を考える上で、建物の向きは非常に重要です。『滋賀の家』は、建物を45度振って真南に向くように配置しなおした建て替えのケースです。元の母屋は敷地内の

林に隣接して建てていたので日当たりが悪かったのですが、敷地の形状にあわせて南西に開いていたので、夏は西日をダイレクトに受けていました。建物を土地の形状にあわせるのではなく、その向きである必然性、採り入れた光、カットしたい光などを考慮して配置することが大事です。1階はキッチンからリビングへの『抜け感』を重視し、『へ』の字の形状に。南西には深く切り込んだ軒を設け、太陽の直射を遮るように設計しました」

建築家は幸せとわがままを叶えるもの

建物は立体なので平面だけでなく、断面で考えることも重要だという。土地は大小、形状もさまざまです。狭い、不整形、法的な規制があるような土地でも、平面だけではなく色々な角度から考え、条件をストーリーに置き換えられれば、おもしろい建物になります。そもそも建築というのは、宇宙の一角を切り取るという行為です。マンションや戸建てを含め、いろいろなタイプの『住まい』がありますが、注文住宅の魅力の一つは、場所や配置を自由に選べ、ご自身やご家族の夢を詰め込めることです。人生に何度もない高価な買い物だからこそ、住まいづくりはもっとわがままでも良いのかもしれない」

PROFILE



守谷昌紀

株式会社 一級建築士事務所アトリエM 代表取締役
建築家

1970年大阪市平野区生まれ。設計事務所勤務を経て、1996年にアトリエMを設立。住宅、医院・商業施設の設計のほか、リノベーションなども手がける。「大改造!! 劇的ビフォーアフター」で放送された「住之江の元長屋」が、匠が選ぶビフォーアフター大賞2012空間アイデア部門賞のほか、大阪：第1回リフォーム・リノベーションコンクールで最優秀賞を受賞。2019年に「阿倍野の長家」がBest of Houzz 2019を受賞。2020年には「中庭のある無垢な珪藻土の家」がBest of Houzz 2020を受賞。

